

2021年 9月じゃおサロン報告

2021年9月24日、「SDGsって何だろう？～SDGsとじゃおクラブとの関係」と題し、25名の参加を得て、オンラインにてじゃおサロンが開催されました。今回は講演会だけではなく、パネルディスカッション、オープンディスカッションを通じて、SDGsを理解するきっかけをつくることを目標としました。

講師には、一般財団法人町田市地域活動サポートオフィスより、事務局長の喜田亮子様と杉山久美子様をお招きしました。

まず初めに、杉山久美子様から、SDGsの意味や成り立ち、SDGsの観点から活動に取り組むことについて講演をいただきました。ポイントは以下の通りです。（プレゼンテーションより引用）



“SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で未来の世代に安心して手渡せる世界にするために作られた、世界レベルの約束ごとです。”

“2015年に国連で「誰ひとり取り残さない」という理念を掲げ全会一致で採択。2030年を期限に取り組みが開始」されました。”

“2030年までに169項目の目標を達成するには、多様な人や組織の参加や協力、パートナーシップが不可欠です。”

“仲間を募り、声なき声を拾い、地域に明るいつながりを生む地域活動こそが「持続可能な世界」の実現の最前線です。”

また、SDGsの観点から地域活動・市民活動に対して以下のキーワードをご紹介します。

- ◆ 誰もが声を挙げられ、パートナーシップがあふれる運営・活動
- ◆ 地域との協働の観点
- ◆ 環境に優しい活動の観点

講演に続いてパネルディスカッションを行いました。今回はパネラーを、増田勝男さん（湘南）、大場幸雄さん（県央）、石崎玄さん（ベイサイド）、千葉敏行さん（多摩・田園）にお願いし、講師の喜田亮子様と杉山久美子様、司会進行役として竹内が加わり、7名で討論しました。主に湘南の「じゃお農園」、県央の「てくてくウォーク」、ベイサイドの「健康マーじゃん」、多摩・田園の「楽しい農園」と「健康テニス」をとりあげ、それぞれの活動に対する考え方や現状を共有しました。ここでは、高齢化に伴う参加者の減少、高齢化に合わせた活動の工夫、コロナ禍での活動の悩みや工夫などが話題になりました。

最後のオープンディスカッションでは参加者から、国連が定めた課題が町田市などの地域活動に至る

まで話し合うようになった成り立ちの質問や、国家間対立や働き方改革の中で次世代に向けて世界を引き継いでいけるか、SDGs が目指す目標を 2030 年に達成できるかなどの質問がありました。課題を意識しながらも肩ひじ張らずに進めていくことが重要との意見もあり、最後まで楽しく活発な話し合いができました。

(多摩・田園 竹内 純一 記)

事務局だより

1. 会員動向

9月1日現在会員数

湘南	県央	ベイサイド	多摩・田園	計
38	30	32	28	128名 (Eグループ会員：115名)

10月1日付退会予定者

寺田 敦氏 (湘南)

2. 運営委員会報告

運営委員会は9月26日(日)にZoomによるオンライン形式で実施しました。

協議事項とその結果は以下の通りです。詳細は9月運営委員会議事録を参照してください。

1) 会費値下げに関する各地域じゃおから2回目の意見集約について(大出委員)

1. サロン講師料 ⇒ 本部主催のじゃおサロンは廃止とし予算化もしない。同様の形態のサロンを開催したい場合は、開催を希望する地域じゃおが、その地域じゃおの予算で開催する。
2. オルタ館内事務所の賃借料 ⇒ 事務所スペースの返却で同意 倉庫は引き続き借用。
3. 広報費 ⇒ 地域じゃおに費用を含めて委ねる。
4. 通信費
 - 4-1. Wi-Fi ⇒ 来年度予算検討時に、通信技術の進展を考慮して運営委員会で議論する。特に異論なし。
 - 4-2. Zoom ⇒ 現状維持。
 - 4-3. サーバー ⇒ 現状維持。
5. 総会費
 - 5-1. 開催方法 ⇒ 地域じゃお横断的交流の場としてこれからもオルタ館で開催。
 - 5-2. 議案書の印刷製本費 ⇒ E会員には電子媒体(PDF)で送付。非E会員には各地域じゃおがプリントして配布する。来年度から議案書の簡素化(ページ数を削減)を考える。
 - 5-3. 総会資料郵送料 ⇒ 5-2の通り地域じゃおで対応するので本部経費は不要。非E会員の議決権行使の方法は要検討。振込用紙の送付は行わず、郵便局にある振替用紙の利用依頼。
 - 5-4. 特別公演 ⇒ 廃止。
 - 5-5. 懇親会費 ⇒ 他地域会員との親睦交流を図るために総会後に実施する。ただし、経費は参加者負担。
6. 運営委員会参加交通費 ⇒ 現状維持。
7. 地域活動費分配金 ⇒ 3,000円は現状維持。
8. 地域横断的な交流の場 ⇒ 基本は地域じゃおに委ねる。各地域で行われる忘新年会等の懇親の機会についても積極的に声掛けを行う。
9. 繰越金の使途 ⇒ 本部については、上記決定に基づき中期的(5年)収支を予測してまずは、会費の金額を決定する。一時的な会費徴収停止などは会費の金額決定後に最終決定する。詳細は次回11月の運営委員会で決定する。各地域については各地域の判断に委ねる。

2) オルタ館の事務所借用に関する情報について（島村監事）

率川様を通してオルタ館の館長と打ち合わせた要点を基に議論した。要点は以下の通りで島村監事より報告された。

- ・ 事務所スペース返却了解 但し受付日から3ヶ月以内に事務所を整理する。
- ・ 返却後も倉庫と会議室、コピー機は今まで通り使用可能。
- ・ じゃおクラブの住所を引き継ぎオルタ館に置く。
- ・ 倉庫を引き続き使うなら住所を置いても構わない。
- ・ 受付に設置された連絡箱を時々見に来て欲しい。
- ・ じゃおクラブの連絡先にオルタ館の電話番号を知らせたりチラシなどに記入しない。
- ・ 退室届は「生活クラブ生活協同組合専務理事 半澤彰浩氏」宛に文書にて提出する。

運営委員会での検討結果

- ・ 住所は継続使用できるので、事務所スペースは返却し、倉庫部分のみ継続借用する。
- ・ 12月に退室届けを提出し、3月末に引き渡しをする。
- ・ 事務所スペースの整理はごみの量、作業量を事前に運営委員で確認し、2月中に整理する。
- ・ 事務所返却に伴い、じゃおクラブホームページの案内地図は削除する。ただし住所とメールアドレスは残す。
- ・ 会費の値下げ及び関連事項(事務所スペースの返却、本部主催のじゃおサロン廃止など)は今期中に臨時総会を開催して正式合意を採り、来期の予算編成に繋げる。
- ・ その他詳細については次回11月の運営委員会で検討する。

3. 次回の運営委員会

日時：2021年11月21日（日）10:00～12:00（オンライン開催）

議長：福山委員、書記：村尾委員

【会員だより】

入会 3 年：趣味は じゃおクラブ湘南

湘南 古岡 實

2018年9月15日、第8回地域活動見本市へ出向き『じゃおクラブ湘南』のブースで入会手続きを行い、11月に正式会員となり、農園作業に参加し、その後、健康麻雀「巳申会」に入会、翌年2月には仮想投資クラブ「JAVIC」に入会をさせて戴き、諸先輩の方々の優しいご指導と爽やかな触れ合いで楽しく喜びに浸り、この11月で3年に成ります。

振り返って見ますと色々と学ばされる事ばかりです。特に、昨年4月に大先輩の山本健介様から農園のチャレンジ畑の区域を引継ぎさせて戴く事に成り、野菜栽培については全く知識の無い私が、野菜の育成に取り組んで行ける喜びを抱き、夏野菜の胡瓜、トマトの苗を購入し、諸先輩の指導のもと苗の植込みを行いました。成熟した野菜を収穫する喜びを期待していたのですが、6月初旬に思いもかけない頸椎椎間板ヘルニアが再発し、首から背中、右手に痛みと痺れが走り、神経鎮痛剤服用と安静の日々が続き、チャレンジ畑の夏野菜の収穫処ではなく、胡瓜、トマトの収穫物を増田様、高木様に自宅まで届けて戴く状況となり大変お世話になりました。折角、引き継いだ畑での結果を出す事が出来ず、去年は反省するのみに終わりました。今年は、何としても夏野菜の育成を楽しみ、収穫する喜びを味わいたいと体調管理を行い、胡瓜、茄子、ピーマン、トマトの夏野菜の苗を購入、又、近隣の方々から提供して頂いた苗を合わせて20種の苗を、先輩の方々の更なるご指導を受け、植え付けを行いました。7月中旬から胡瓜の収穫が始まり、トマト、茄子、ピーマンと順調に収穫の喜びに浸りましたが、夏野菜の成熟の速さには感動させられました。特に、30センチを超えるお化け胡瓜の姿には驚かされました。収穫をした夏野菜を関西の知人に送ったところ、関西弁の『ボケずに長生きしなはれ』の文語五節が書かれたタオルが送られて来ました。



関西弁で書かれた文節ですので少々わかりにくいかも知れませんが、その文節の一部を紹介させていただきます。

『わが子に、孫に、世間さま、どなたからでも慕われる ええ年寄りになりなはれ。ボケたら あかん、そのために何か一つ趣味をもち、せいぜい長生きしなはってええ 年寄りになりなはれ。』という内容でした。

会社人間から地域の社会人間を目指し、入会3年、趣味は、当然『 JAO 湘南 』でしょう。『ボケない、ええ年寄りになりなはれ』を目指し、趣味を大切に、より学び、より楽しく、前に、前に歩んで参ります。 今後とも宜しくお願い致します。

うた三題

ベイサイド 真島 俊介

秋の夜は更けて 集く虫の音に 疲れた心いやす 我が家の窓辺 静かに ほのぼのと 幸せはここに

大橋節夫とハニーアイランダースのスチールギターの甘い音色とともに、夜は更けていきます。学生時代はダンスパーティーが盛んでした。入部したての下っ端は、半ば強制的に割り当てられたパー券を、必死に売りさばいたものです。それでもさばききれなかった何枚かを、兄を通じて完売したときは、大仕事を終えた気持ちでした。当日先輩の演奏の合間に、2、3曲歌わせてもらって、予定終了。会場の隅のほうで習いたてのジルバを踊ったのは、懐かしい思い出です。片付けを終え、帰り道。火照った体を醒ますため、河辺を歩くと、水面に映る灯りが一つ、また一つ。

白玉の歯にしみとほる秋の夜の 酒はしずかに 飲むべかりけり 牧水

ぬる爛の日本酒を愛用の九谷焼の猪口に注ぐ。一口ぐびり。小鍋の中の豆腐を取り皿に。初めは薬味を加えずに醤油だけ。豆腐は国産大豆の絹ごし豆腐がベスト。口に含むと大豆本来のうまみがじわーと口中に広がる。次は薬味を加えていただく。豚肉と法蓮草の常夜鍋も美味しいものです。鍋の中に日本酒をケチらずたっぷり加えるのが美味しさのコツです。スタチを加えたポン酢で頂くといくらでも飲めそうに感じられます。ひとしきり飲み、食べて一息つくと東の空にお月様。そういえば今日は満月の中秋の名月です。いわゆる芋名月です。そういえば、急に河原での芋煮会を懐かしく、思い起こされます。

泣き笑いしてわがピエロ 秋じゃ！秋じゃ！と歌うなり
Oの形の口をして 秋じゃ！秋じゃ！と歌うなり
月のような白粉の 顔が涙を流すなり
身すぎ世すぎの是非もなく おどけたれどもわがピエロ
秋はしみじみ身に滲みて 真実なみだを流すなり

作詞の堀口大學が在仏中に親交のあったギョーム・アポリネールとマリー・ローランサンとの悲恋に題材を取り、清水脩が作曲した男声合唱組曲の第二曲「秋のピエロ」です。男声合唱に足を踏み入れた者は必ず歌ったことがある曲です。トップテナーとセカンドテナーとバリトン、ベースの4パートが互いに調和しつつ、ある時はトップが、ある時はベースが曲の進行をリードし、その間でセカンドとバリトンの井がハーモニーを支える。そして五曲目の「月光とピエロとピエレットの唐草模様」で大団円を迎える。最後の「ピエロ！」でピエロとピエレットの恋は終わる。男声合唱組曲の最高峰といっても過言ではない。

近況報告

ベイスайд 前田 義春

私の生活近況報告をします。

私の生活の大半を占めるのは4年前から始めた清掃の仕事です。きっかけは26年間通勤した東京で退職後も神田駅近くの行きつけの小さな居酒屋でいつものように飲んでいる時のことです。ママからカウンター仲間を指して「この人清掃業をやっているのに人手不足でこまっているの。前田さん何もしてないなら手伝ってあげなさいよ。」の一言で引き受けました。

当時不規則な仕事はありましたが大半は友人等との飲み会が多く遊びに勤しんでいたようです。今も毎日定時に体重計測をしますが、4年前は80kgの記録が残っていて体重過多からくる足腰の傷病に悩んでいたのも、これをきっかけに体を健全にしようと思ったのも引き受け要因でした。

勤務地は赤坂見附、平日のみの夕方5時から7時までの2時間。作業はビルの6フロアを請負っていて7人のメンバーで社員のゴミを収集後、掃除機掛け、コロナ後はテーブルの除菌も加わっています。これが思ったよりキツイ。途中で汗だくになりタオルの助けを借りるのもしばしばです。そんなこんなで今年の8月には70kgを記録しました。喜びも束の間、9月末は72kgまでもどりましたが……。この歳(74歳)まで体を動かす仕事に携われることに感謝し、もうしばらく続けてみようと思っています。

もう一つ、毎朝行っていることがあります。それは午前6時半からのラジオ体操です。近所に道路と河川に挟まれた1500坪程の公園があり、9年前に近所の3人でスタートしました。河川の遊歩道を利用する方々、近所の皆さんの参加で現在は最大70人、平均45人を数えています。都会の住宅地で朝早くからラジオを鳴らすことは近所迷惑で理解を得られないのが普通ですが、案の定苦情がはりました。ある日パトカーが止まり「音がうるさいとの苦情が入った、音を低くするように」とのこと。ほかにも区役所、地区センターなどあらゆる公的機関を通じて注意が入った。それでも最後は町内会長と苦情者本人の面談で解決して現在に至っています。

コロナ禍でこの2年中止したが、体操の仲間と公園で花見会をやるのが最大イベントです。95歳の元海軍兵がハーモニカで演奏したり、ギター、マンドリン、三味線での伴奏で歌ったりおどったりして楽しんだりしました。来年は復活出来ればいいですね。

ラジオ体操の縁でこの公園の管理世話役を2年前から引き継ぎました。公園を利用しやすいよう公園のゴミ拾い、雑草の除去、樹木のせん定、花の植栽、水遣りなどをラジオ体操の前後に10数人のボランティアで行います。2年前に川床から移植した彼岸花が今年は見事に咲き誇りました。

これからも楽しんで頂けるよう花いっぱい公園にしたいと考えています。

習い事ですが6年ぶりにこの5月から津軽三味線の教室に再入会しました。教室退会前に一緒に練習していた作家の方の作品が映画化されると新聞記事で拝見し懐かしさと退会後の自分の至らなさに鼓舞したくてのことでした。月に2回東京神保町に通っています。

じゃおグリークラブは私の友人が主宰する会で宮松さん、新藤さんに出会い入会を勧められたのがきっかけです。このコロナ禍で練習場所がなく2年近くの休会となっておりますがこれの再開も待ち遠しいです。

このコロナ禍で良かった事。近所に住む長男の3男、4男(双子5歳)が保育園のクラスター発生で保育を我家に委託され孫との接触が今まで以上となったこと、幸せを感じております。

コロナと闘う「地域活動見本市」

「地域活動見本市」とはリタイア後に地域に帰ってくるシニアに、地域で活動している団体がその活動内容を紹介する藤沢市のイベントです。NPO 法人湘南ふじさわシニアネットが藤沢市高齢者支援課と共催する行事で毎年2月と9月に開催されます。じゃおクラブ湘南も参加して新会員の募集活動に大いに役立てています。新型コロナウイルスの感染拡大のため昨年9月は中止になり、今年の2月は対面開催をせずに、ビデオをYouTube配信しました。

今年の5月、湘南ふじさわシニアネットから今回の14回地域活動見本市は徹底的に感染対策をとった上で、有観客で9月11日(土)に実行する旨連絡がありました。開催場所は藤沢市「Fプレイス」です。ホール舞台上で参加団体がプレゼンテーションを行った後に別室を設けて、入会希望者に個別説明会を行うという趣旨でした。密を避けるために「午前」と「午後」にグループ分けをして、個別説明会には説明者以外は参加団体メンバーの入室を禁じました。受付で来訪者と関係者全員に「氏名」と「連絡先」を記入して貰い、入館時刻と退館時刻をバーコードに記録して、万が一クラスターが発生した時に備えました。舞台ではマイクは参加団体のプレゼンテーション毎に消毒済みのものと交換することにしました。一団体の持ち時間は5分間で、映像に合わせて口頭説明をします。ビデオの最終編集は主催者が行い、映像は自動送りになります。



イベントの準備には主に大出・柏瀬・小坂・島村・永井・古岡・増田の7氏が当たることにし、プレゼンターには声のよく透る永井さんをお願いしました。農園日の午後に永田農園の会議室をお借りして第13回で作成した映像を基本に皆で議論を重ねて改良を加えて行きました。苦労したのは、じゃおクラブとじゃお湘南の多岐に亘る活動の説明を5分間で纏める難しさです。これには「秒単位」の準備作業が必要でした。

イベントの準備には主に大出・柏瀬・小坂・島村・永井・古岡・増田の7氏が当たることにし、プレゼンターには声のよく透る永井さんをお願いしました。農園日の午後に永田農園の会議室をお借りして第13回で作成した映像を基本に皆で議論を重ねて改良を加えて行きました。苦労したのは、じゃおクラブとじゃお湘南の多岐に亘る活動の説明を5分間で纏める難しさです。これには「秒単位」の準備作業が必要でした。

藤沢市の新型コロナウイルスの一日の新規感染状況ですが5月下旬では10人以下でしたが、7月27日には52人、8月19日には114人と急速に増加しました。8月22日に緊急事態宣言が発令され、このイベントは無観客で実施することになりました。個別説明会も中止になりました。たいへん残念ですが已むを得ません。8月30日にFプレイスでプレゼンテーションのリハーサルを行い、9月11日(土)には上述の感染対策をそのまま実践しながら無観客で行いました。藤沢市の鈴木市長にご出席頂き、コロナ禍の中でいろいろな工夫をしながら活動する市民団体の努力についてご理解と励ましの言葉を頂きました。じゃお湘南のプレゼンも立派に行われました。プレゼンの最後に、永井さんからじゃおクラブでは現在新入会員の入会キャンペーンを実施中で、入会して頂ければ今年度(来年3月まで)の会費は無料になること、じゃおクラブのチラシが公民館に用意されているので(9月16日~11月15日の間)見て欲しいと話して頂きました。公民館でのチラシの配架は希望者が多く抽選ですが、タイミング良く配架ができたのは良かったです。なお今回のイベントは現在、湘南ふじさわシニアネットが編集集中ですがのちほどYouTube等で配信されますので配信の際は皆様にお知らせします。

(湘南 島村 忠男 記・増田 勝男 写真)